

千葉県立病院改革プラン  
の実施状況  
(平成22年度実績)

千葉県病院局

# 1 千葉県立病院改革プラン

(1) プラン概要

(2) 22年度収支計画と実績

(3) 22年度実績の主なポイント

# 2 これまでの主な費用削減の取組み

(1) 材料費の縮減

(2) 経費の縮減

(3) 医療機器購入費の縮減

# 3 平成23年度上半期の状況(収益)

(1) 上半期の医業収益の前年度比較

# 1 千葉県立病院改革プラン (H21年3月策定)

## (1) 改革プラン概要

① **経営の効率化に係る計画** ⇒ 収入確保策や経費削減策、民間的経営手法の導入、施設整備等を記載

各病院の収支計画

(単位:百万円)

病院名	がん	救急	精神	こども	循環器	東金	佐原	小計	経営管理課	合計
23年度	569	214	207	169	△375	△367	△162	255	△709	△454
					(26年度) 156		(24年度) 6			(25年度) 173

※ 7病院合計で **23年度に 2億5500万円の黒字化** 予定

※ 病院局全体(経営管理課含む)で **25年度に 1億7300万円の黒字化** 予定 (金額は消費税込み)

② **再編・ネットワーク化** 東金病院:東金市、九十九里町による地域医療センター開設時(26年4月予定)に引継予定  
⇒ 佐原病院:国保小見川総合病院との再編・ネットワーク化について、今後協議予定

③ **経営形態の見直し** ⇒ 非公務員型の独立行政法人などへの移行について課題等の整理を行い、経営形態の見直しについて検討

## 改革プランの収支計画(収益的収支)

(単位:百万円)

区分		21年度計画	22年度計画	23年度計画
収 益	医業収益	28,492	28,840	29,430
	(入院収益)	20,275	20,454	20,914
	(外来収益)	7,803	7,988	8,118
	医業外収益	9,845	9,808	10,207
	経常収益	38,337	38,648	39,637
費 用	医業費用	38,989	38,665	39,101
	(職員給与費)	20,015	19,959	20,358
	(材料費)	9,382	9,461	9,568
	医業外費用	1,044	1,000	990
	経常費用	40,032	39,664	40,091
経常損益		<b>△1,696</b>	<b>△1,017</b>	<b>△454</b>

## (2) 22年度収支計画と実績

(単位:百万円)

区分		計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
収益	医業収益	28,840	30,628	1,788
	(入院収益)	20,454	21,219	765
	(外来収益)	7,988	9,007	1,018
	医業外収益	9,808	10,821	1,013
	経常収益	38,648	41,448	2,801
費用	医業費用	38,665	39,281	616
	(職員給与費)	19,959	20,329	371
	(材料費)	9,461	10,071	609
	医業外費用	1,000	1,035	36
	経常費用	39,664	40,316	652
経常損益		<b>△1,017</b>	<b>1,132</b>	<b>2,149</b>

## 収益の詳細

(単位:百万円)

区分		計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
収益	医業収益	28,840	30,628	1,788
	入院収益	20,454	21,219	765
	外来収益	7,988	9,007	1,018
	その他	398	402	4
	医業外収益	9,808	10,821	1,013
	他会計負担金	9,542	10,286	744
	国(県)補助金	52	130	79
	その他	214	404	190
	経常収益	38,648	41,448	2,801

## 費用の詳細

(単位:百万円)

区分		計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
費用	医業費用	38,665	39,281	616
	職員給与費	19,959	20,329	371
	材料費	9,461	10,071	609
	経費	6,518	6,171	△347
	減価償却費	2,534	2,549	15
	その他	193	161	△32
	医業外費用	1,000	1,035	36
	支払利息	626	582	△44
	その他	374	454	80
	経常費用	39,664	40,316	652
経常損益		△1,017	1,132	2,149

## 病院別収支計画と実績(経常損益)

(単位:百万円)

病院名	計画 ①	実績 ②	差引 ②-①
がんセンター	569	1,270	702
救急医療センター	164	548	384
精神科医療センター	214	262	48
こども病院	148	818	670
循環器病センター	△642	△764	△122
東金病院	△450	△375	75
佐原病院	△289	△111	178
病院計	△286	1,649	1,935

### (3) 22年度実績の主なポイント(収益)

#### ア 入院収益

○22年度計画 20,454百万円 ⇒ 実績 21,219百万円

- ・計画に対して + 765百万円
- ・入院患者数は計画に満たなかったものの、前年度より増加。  
入院単価の伸びが大きかったため、計画を上回った。

延入院患者数(7病院計) 計画 355,404人 ⇒ 実績 352,945人 △2,459人  
入院単価(7病院平均) 計画 57,551円 ⇒ 実績 60,121円 +2,570円

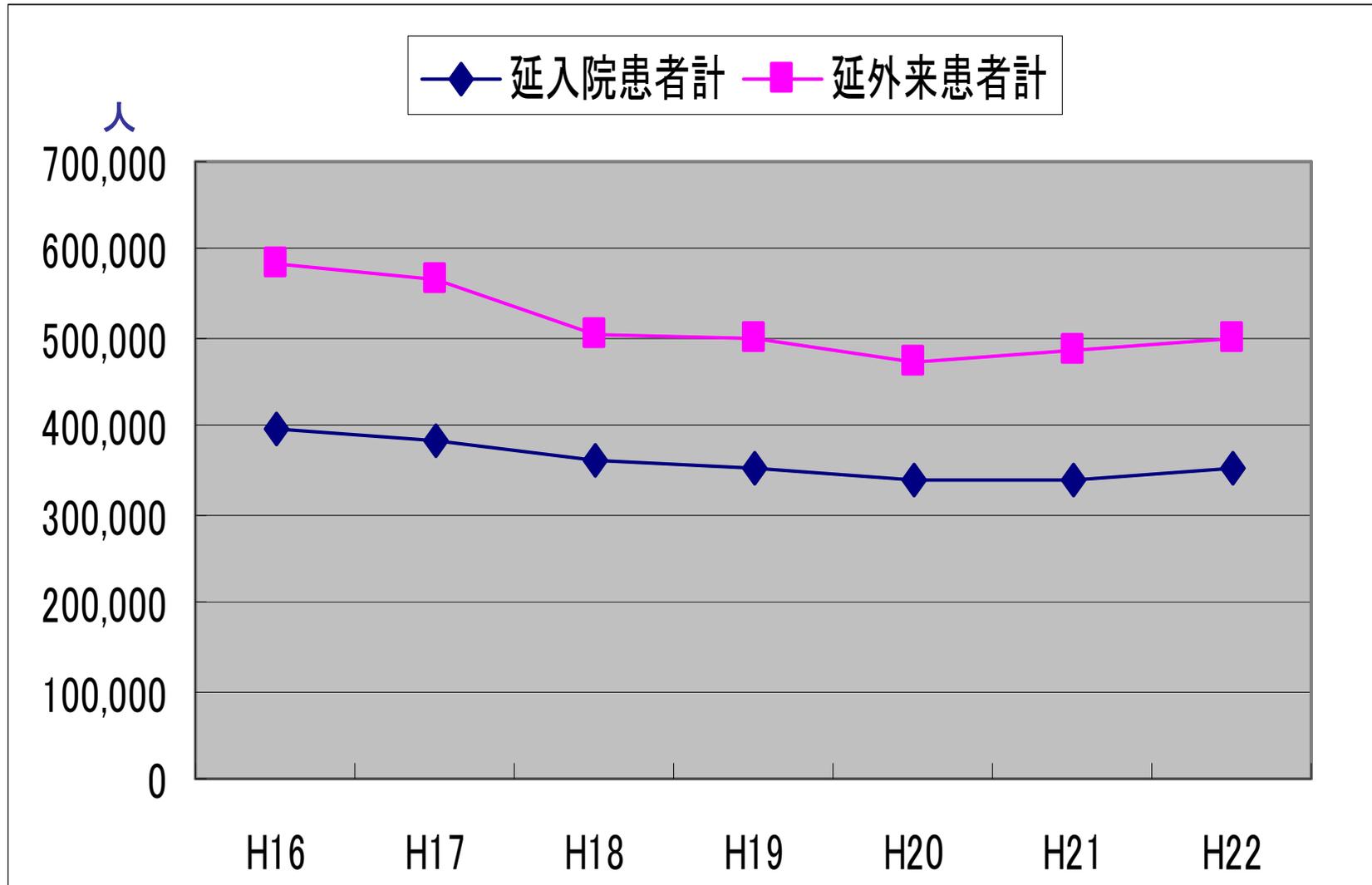
#### イ 外来収益

○22年度計画 7,988百万円 ⇒ 実績 9,007百万円

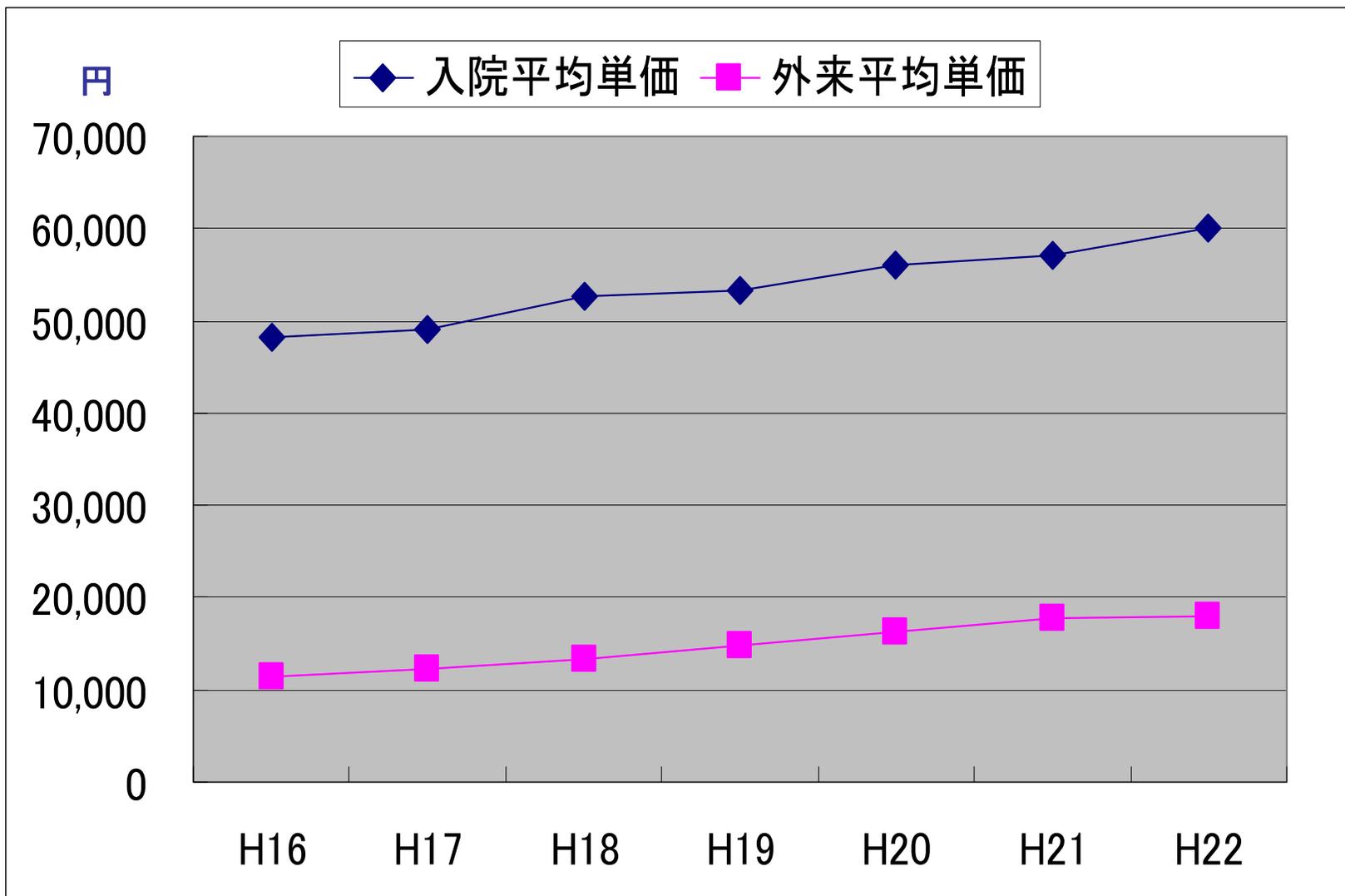
- ・計画に対して +1,018百万円
- ・外来患者数は計画に満たなかったものの、前年度より増加。  
外来単価の伸びが大きかったため、計画を上回った。

延外来患者数(7病院計) 計画 499,946人 ⇒ 実績 499,635人 △311人  
外来単価(7病院平均) 計画 15,978円 ⇒ 実績 18,026円 +2,048円

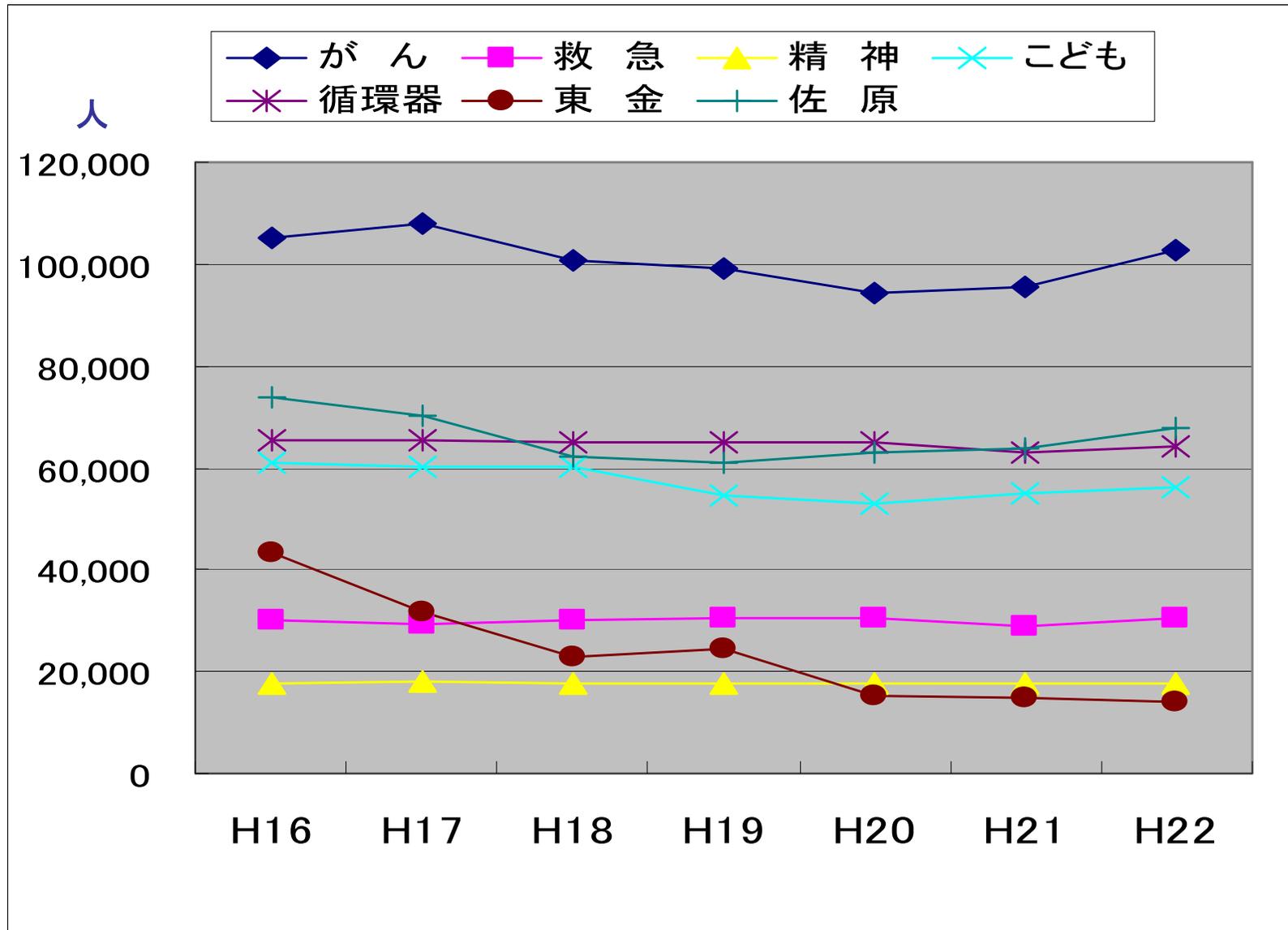
## 平成16年度からの推移(延入院患者数・延外来患者数)



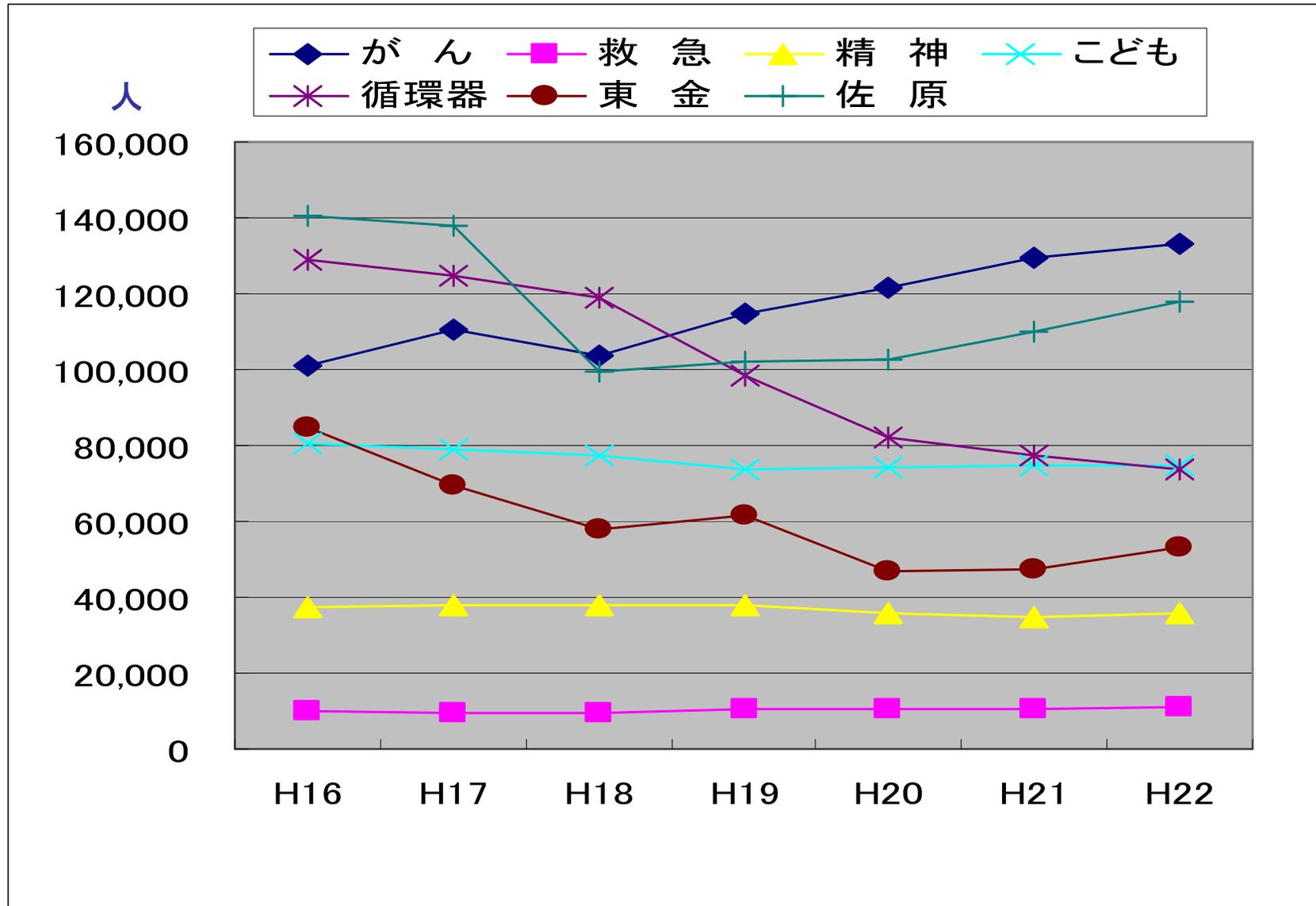
## 平成16年度からの推移(入院単価・外来単価)



## 平成16年度からの推移(病院別延入院患者数)



# 平成16年度からの推移(病院別延外来患者数)



## 22年度実績の主なポイント(費用)

### ウ 職員給与費

○22年度計画 19,959百万円 → 実績 20,329百万円

- ・計画に対して + 371百万円
- ・職員の増、給与減額措置の終了、共済負担率の引き上げ等により、計画より増加した。

### エ 材料費

○22年度計画 9,461百万円 → 実績 10,071百万円

- ・計画に対して +609百万円
- ・薬品及び診療材料の共同購入に取り組んでいるが、がんセンター、救急医療センター、こども病院における薬品費及び診療材料費の増加等により、計画より増加した。

## オ 経費

○22年度計画 6,518百万円 実績 6,171百万円

- ・計画に対して △347百万円
- ・21年度実績より増加したものの(+146百万円)、対医業収益では抑制傾向にあり、計画を達成した。

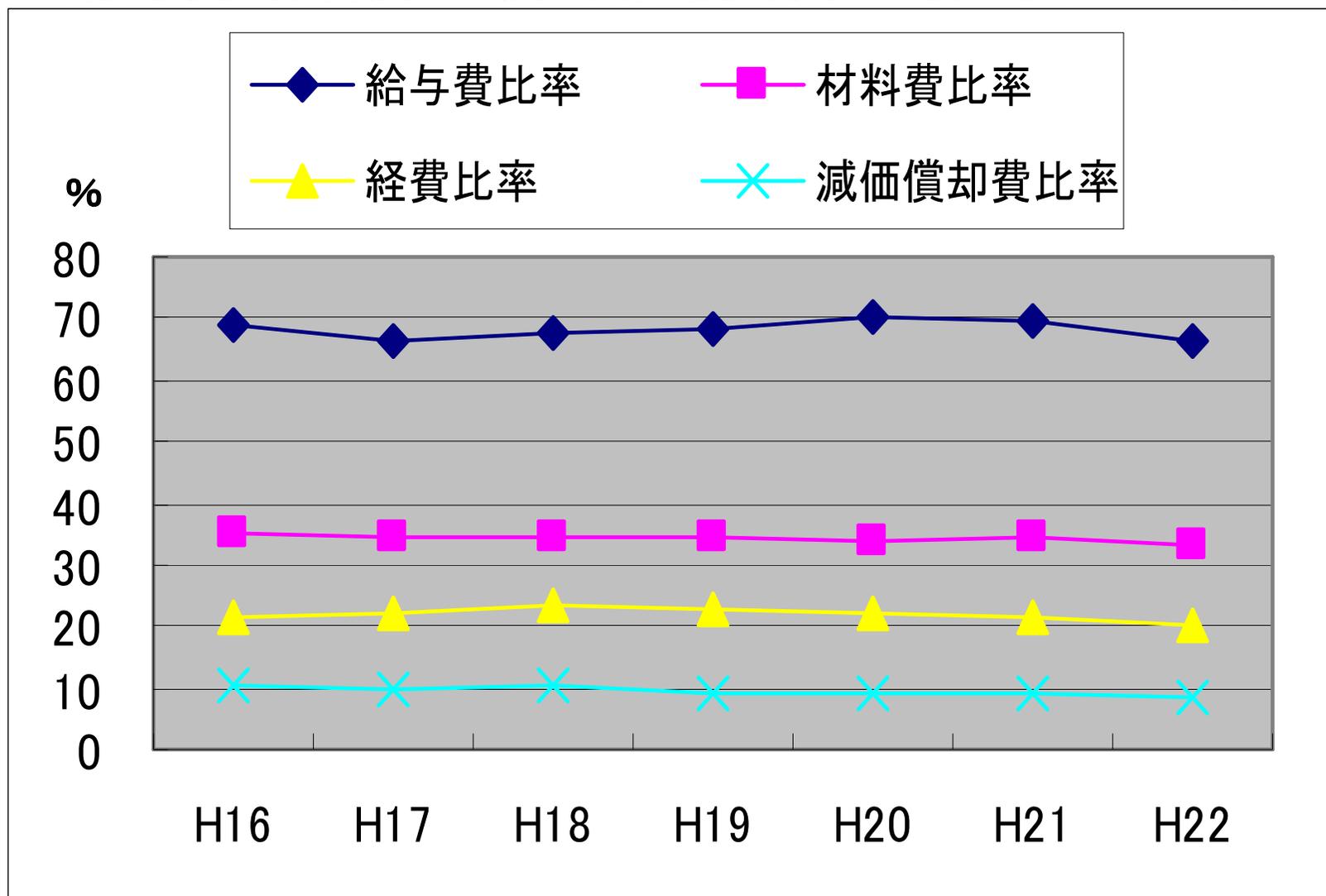
### 病院別経費比率の推移(対医業収益)

(単位:%)

病院名	20年度実績	21年度実績	22年度実績
がんセンター	19.8	18.5	16.4
救急医療センター	20.3	21.4	19.0
精神科医療センター	16.3	15.4	15.2
こども病院	19.7	19.1	18.2
循環器病センター	22.3	22.1	23.9
東金病院	46.8	39.1	38.9
佐原病院	22.1	21.2	20.4
病院局計	22.3	21.3	20.1

※病院局計には経営管理課分を含む。

## 平成16年度からの推移 (給与費・材料費・経費・減価償却費の対医業収益比率)



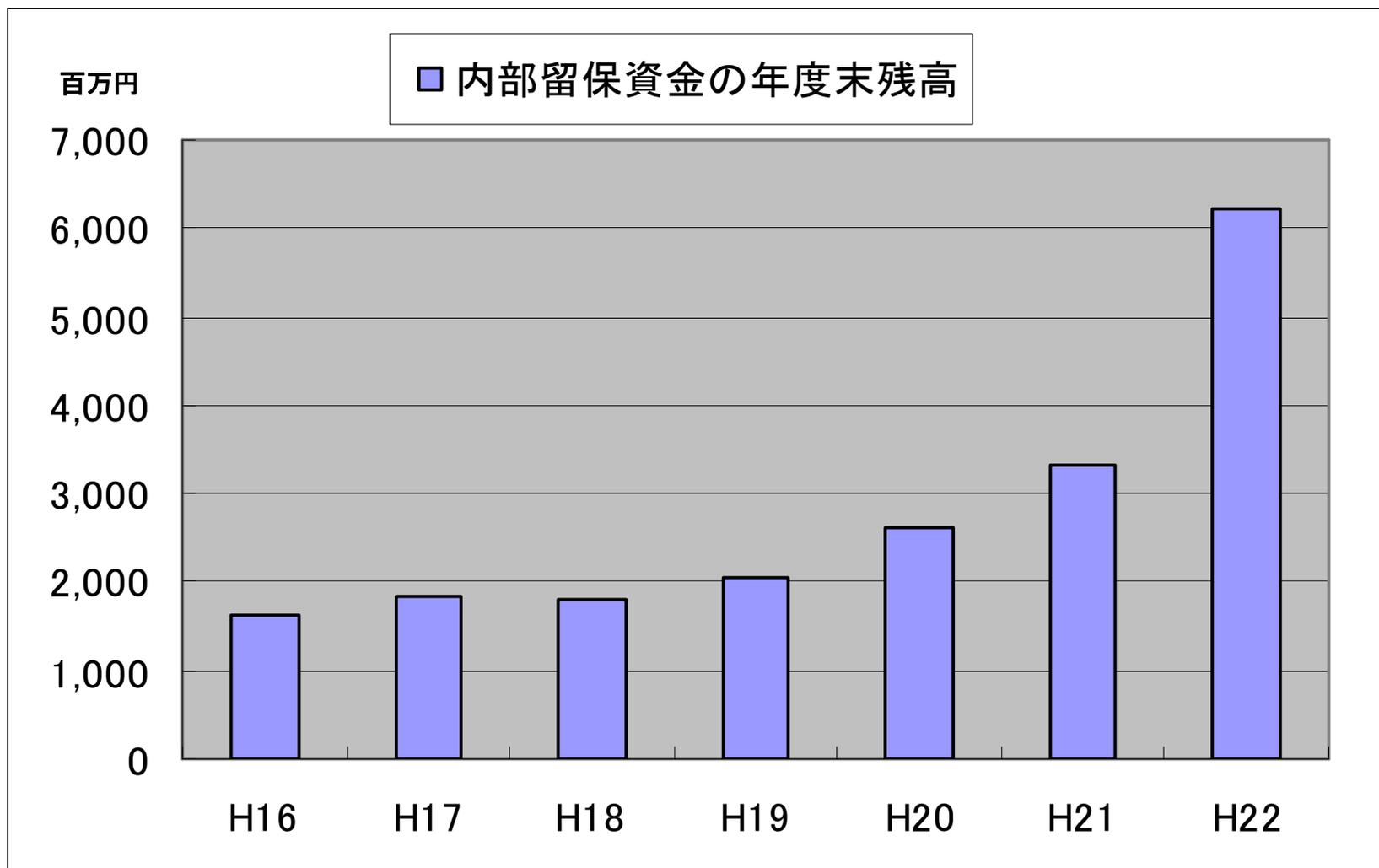
## カ 主な指標の推移

(単位：%)

	21年度 計画 A	21年度 実績 B	B-A	22年度 計画 C	22年度 実績 D	D-C	23年度 計画
経常収支比率	95.8	98.0	2.2	97.4	102.8	5.4	98.9
医業収支比率	73.1	74.2	1.1	74.6	78.0	3.4	75.3
職員給与比率	70.2	69.4	△0.8	69.2	66.4	△2.8	69.2

⇒いずれも23年度計画値を1年前倒しで達成

## (参考)内部留保資金の推移



## 2 これまでの主な費用削減の取組み

### (1) 材料費の縮減

#### ○ 薬品の共同購入

- ・平成14年度下期分から共同購入実施



- ・平成20年度・・・薬価差益額 499百万円(一般薬)



- ・平成21年度・・・薬価差益額 605百万円(一般薬)



- ・平成22年度・・・薬価差益額 726百万円(一般薬)



- ・平成23年度(上半期)・・・薬価差益額 367百万円(一般薬)  
(下半期)・・・薬価差益額 409百万円(一般薬)

他県の状況を踏まえ、上半期と下半期に分けて共同購入を実施。  
半年分の購入予定額に対する参考見積を対象業者(5社)から取り、  
値引率の高い3社を指名対象としている。

○ 診療材料の共同購入

- ・平成14年度からシリンジ(注射筒)について共同購入実施



- ・平成18年度・・・7病院の購入額上位卸9社について、本課  
で一括価格交渉 **△140百万円**



- ・平成19年度・・・コンサルと連携した購入額削減の取組み



- ・平成21年度・・・7品目を対象に共同購入を実施  
吸引カテーテル、マスク等6品目を追加



- ・平成22年度・・・12品目を対象に共同購入を実施  
ラテックスグローブ等6品目を追加、ペーパータオルを除外



- ・平成23年度・・・9品目を対象に共同購入を実施  
弾性ストッキングを追加、マスク等4品目を除外

**△1百万円**

※縮減効果額は前年度購入単価ベースとの比較

## (2) 経費の縮減

### ○ 委託業務の見直し

- ・平成21年度・・・建物管理業務、洗濯業務について集約化  
エレベーター保守等について、本課による  
一括契約

エレベーター保守、消防設備保守、電気工作物保守



△10百万円

- ・平成22年度・・・医療廃棄物処理業務について、入札参加  
資格の見直し

中間処理場・最終処分場の要件を隣接県まで拡大

△25百万円

### ※ 複数年契約の推進

清掃業務(16年度～)、給食業務(17年度～) 等

### (3) 医療機器購入費の縮減

#### ○ 機種選定方法・入札方法の見直し

- ・平成21年度・・・より競争性を高め安価に購入するため一般競争入札に当たり、複数機種選定を導入

※22年度は一般競争入札の約43%に適用



- ・平成22年度・・・複数の病院で同種の機器を購入する場合にスケールメリットを生かして安価に購入できるよう本課で一括して入札を行う制度(共同購入)を医療機器にも導入

ベッド、超音波診断装置、人工呼吸器など

6機種を対象に実施 **△20百万円**

※縮減効果額は直近の購入価格等との比較

### 3 平成23年度上半期の状況(収益)

#### (1) 上半期の医業収益の前年度比較

(単位:人、百万円、%)

	平成22年度	平成23年度	増減	増減率
延入院患者数	175,408	178,126	2,718	1.5%
延外来患者数	249,196	255,367	6,171	2.5%
計	424,604	433,493	8,889	2.1%
入院収益	10,452	10,921	469	4.5%
外来収益	4,422	4,664	242	5.5%
その他医業収益	197	214	17	8.6%
医業収益	15,071	15,799	728	4.8%